

# まちかど ネットワーク

「まちかどネットワーク」は、皆さんの地域の話題を中心にお届けするコーナーです。

皆さんの身近で起こった出来事、御意見などをお寄せください。連絡先：市内永田町一―100 市広報広聴課

☎ 五―0133 内線二八三

締め切りは毎月十五日です。



## 中央図書館の 図書室を明るく

このコーナーは「市長への手紙」をお寄せくださった人の中から、意見・提言などを紹介します。今回は、富士見台三丁目の渡辺登美子さんの「中央図書館の照明」についてです。（「市長への手紙」の用紙は、各公民館などにあります。）



△明るくなった図書館

### 市長への手紙

私は二年前富士市へ転入してきて以来、ずっと市立中央図書館を利用しています。カード化貸し出しシステムで、断固三冊以内というのではなく余分にお借りできるので、富士見台から通う私たちにとって、とてもありがたいことと思っています。



△渡辺登美子さん(左)と子供たち

職員の方々もとても親切です。

さて、四月から子供の本が大人と同じ二階へ移されました。それはよいのですが、部屋がとても暗く、蛍光灯と蛍光灯との間の書棚の本は影になってしまいます。大人だけでなく子供たちも利用するところですので採光を考えて、図書室を明るくして下さるようお願いいたします。

### 明るくなるよう配慮

#### 市長の答え

図書館に対して貴重な御意見をありがとうございます。図書館では市民の皆さんに気軽に利用していただくために、図書

室の改善を初め、参考図書室の開設や視聴覚資料の新たな貸し出しを行うほか、利用者との気持ちのよい応対に心がけております。

さて、御指摘の館内の照明のことですが、ここ数年来、天井の蛍光灯の一部を外しておりました。これは節電のために行っていたのですが何よりも利用者サービスを優先して、すべての照明器具に蛍光灯を取り付けました。

また、場所によってはカバーも外し、少しでも明るくなるよう配慮しました。

しかし、何分にも施設の老朽化などにより照度は十分とはいえません。今後、補助灯の設置などを検討し、御要望におこたえしたいと思えます。これからも図書館を御利用ください。

優地区の議長  
活動富士の  
一富会議  
ティ会  
ニ賞  
ユ受  
ミを  
コ賞  
県秀  
区

## 齋藤保春さん

(三四軒屋・64歳)



「すみよい街づくりとは、住民の心の通うまち」という持論で、富士南地区のまちづくり会議をスタートしてきたのが齋藤さん。富士南地区が地域コミュニティづくりとして行ってきた三世交代流事業・三千人集会・富士南ききょう大学講座・郷土誌「ききょうの里」づくりなどの仕掛け人です。

奥さんの智恵子さんが、「いつも市役所か公民館に出かけています」というように、数々の公職をこなし、とにかくタフ。

齋藤さんのパワーをすれば、コミュニティ活動優秀賞も当然といえるかもしれません。

齋藤さんが、これからの課題として考えているのは、青少年教育。「これから地域をしようとして立つのは青少年。青少年をしっかりと育てるには親がほさつとしていちゃできない。つまり生涯学習かな」と目を輝かす。

座右の銘は？の問いに「おれがやらなきゃだれがやる」との答え。うーん、びつたり。

